

令和3年10月1日

学生・保護者・教職員の皆様へ

広島商船高等専門学校
校 長 河口 信義
広島丸船長 清田 耕司

広島丸における新型コロナウイルス対策指針について（3報）

広島商船高等専門学校では、学内で実施している新型コロナウイルス感染症の抑止措置を踏まえ、広島丸船内での実習における、学生の実習に関する指針を段階的に改正を行い、本年度前期は停泊及び無寄港の日帰り（昼食有り）実習を実施してきました。

広島丸では、次の段階として令和3年度後期実習から、泊を伴う実習をこれまでの感染症対策を追加変更して行うことにします。

1. 乗船時の確認

- ① 乗船者に対し乗船日2週間前より健康・行動チェックの実施
⇒ 登校許可で確認を行う。
- ② 学生へ実習中の注意喚起（別紙、広島丸での実習に向けて）
- ③ 乗船前の人数確認において、体調確認を行う
⇒ 登校時の健康観察をクリアしている前提で、乗船時においても確認を行う。ただし、不調が認められる場合は乗船許可しない。
- ④ 非接触型の体温計による体温測定
- ⑤ 発熱が認められた場合、実測式体温計による再測定を行い 37.5度以上の場合、乗船を許可しない
- ⑥ 乗船時等の抗原検査実施（広島丸乗組員も含め）

2. 乗船中の注意

- ① 船上で手の消毒（手洗い）を行ったのち、マスクを着用し船内に入る。
⇒乗船中は、飛沫を飛ばさないように原則マスクを着用する。
実習の場面に応じてフェイスシールドを使用する。
⇒こまめな手洗いや手指消毒の実施を指導する。
- ② 実習、その他全般で三密を避ける方策を取る。
三密を避けるため、可能な限り少人数による実習を行う。

(船橋・教室・機関室・機関制御室・工作室・端艇甲板、船首甲板、船尾甲板等の暴露部(屋外)などへ分散)

また、教室などでは、隣の席との間隔を1名分以上開けて着席する。

- ③ 船内の換気のため、窓、ドアの開放や船内空調の利用、機関室などでは、大型通風機による換気(給気・排気)を行う。
- ④ 船上の手すり、ドアノブなどのアルコール消毒を行う。
- ⑤ 学生への指示は、テキストや板書による指示や場所に応じて、マイク・拡声器によって行う。

3. 就寝時の注意

- ① 就寝時感染対策：居室入口カーテン及びボンクカーテンを閉める。
- ② 室内では、三密を避ける方策を取る。

4. その他

- ① 発熱者や体調異変者が発生した場合に、病室などで安静にさせながら、速やかに医療機関と連携をとり対応でき体制を整える。

【別紙】

令和3年9月28日

学生のみなさんへ

広島丸船長

広島丸での乗船に向けて

※ 感染拡大防止のため広島丸で実習を行うにあたり、以下の項目を遵守・理解して取り組むようにしてください。

1. 2週間以内に発熱等の症状がひどく受診や服薬等をした場合、乗船を控えてください。
2. 実習当日または、3日以内の体調がすぐれない場合には、乗船を控えてください。
3. 乗船するすべての乗船者を対象に乗船時の体調確認・体温測定を実施します。登校時の健康観察をクリアしている前提で、**乗船時の2週間前からの状況確認を行います**。ただし、不調が認められる場合乗船を許可しません。
4. 乗船中は、水分補給時等以外は、休憩時間中を含めて**マスク着用**です。
5. 乗船の際には、石鹸を用いた手洗い又は消毒薬で消毒を行った上で乗船してください。また、こまめに手洗いを行ってください。
6. 飛沫を飛ばさないように、船内では、咳エチケットを励行してください。
7. 就寝時は、居室入口のカーテン及び各ボンのボンクカーテンを閉じてください。
8. 各自の自覚によって、有意義な広島丸での実習となるよう、積極的に取り組んでください。